

安全データシート(SDS)
<混合物用(塗料用)>

1. 化学品及び会社情報

製品番号 005-301 CLIMAX ECO PUTTY YELLOW HARDENER
 製品名 クライマックスECOパテ イエロー硬化剤
 毒劇法 該当せず
 種類 過酸化物系硬化剤
 主な用途 自動車補修用塗料

会社名 株式会社ソフト99オートサービス
 住所 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町3-1-3
 部門 開発部 TELNO. 06-6947-9955
 担当者 濱根 一平 FAXNO. 06-6945-9991
 作成者 濱根 一平 作成・改訂 2017年7月4日
 ホームページアドレス <http://soft99-as.co.jp>

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

有機過酸化物 区分 D
 急性毒性(経口) 区分 4
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2
 生殖細胞変異原性 区分 2
 発がん性 区分 2
 生殖毒性 区分 2
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 2 (神経, 血液, 肝臓)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2 (神経, 肝臓, 腎臓)

【GHSラベル要素】



危険

【危険有害性情報】

- ・加熱・衝撃等により爆発的に燃焼する。
- ・飲み込むと急性の有害性がある。
- ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- ・重篤な眼への刺激
- ・遺伝性疾患のおそれがある。
- ・発がんのおそれの疑いがある。
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれがある。
- ・ばく露により臓器の障害がおこるおそれがある。
- ・長期または反復ばく露による臓器の障害がおこるおそれがある。

【注意書き】

《予防策》

- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
- ・規制当局が指定する禁忌物質から遠ざけること。
- ・他の容器に移し替えないこと。
- ・規制当局が指定する保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・大火災および大量にある場合：区域より退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。
- ・使用前に取扱説明書入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

《応急措置》

- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
- ・取り扱った後、手を洗うこと。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・ばく露した場合：医師に連絡すること
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

《保管》

- ・他の物質から離して保管すること。
- ・製造者/供給者または規制当局が指定する冷所に保管すること。
- ・日光から遮断すること。
- ・施錠して保管すること。

- ・内容物／容器を行政の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

成分及び含有量（危険有害物質を対象）

No. 成分名	CAS No.	含有量 Wt%	P R T R 対象	安衛法NO-備考
1) 過酸化水素	7722-84-1	1～5		126
2) 非結晶性シリカ A	7631-86-9	5～10		312
3) プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	108-65-6	35～40		
4) シクロヘキサノン (元素名)	108-94-1	1～5		231

該当元素を含まず

*元素名と成分名の欄に同一 P R T R 物質番号がある場合の P R T R 計算は、元素名の含有量を用いて下さい。

4. 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布で素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。溶剤・シンナーは使用しない。

目に入った場合

- ・外観に変化や痛みがある場合、SDSを提示して医師の診断を受ける。
- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ速くSDSを提示し医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・誤って飲み込んだ場合安静にし直ちにSDSを提示し医師の診断を受ける。
- ・無理に吐かせない。嘔吐物は飲み込ませない。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤 水泡 乾燥砂

使用してはならない消火剤 炭酸ガス 粉末

消火方法

- ・適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・指定の消火器もしくは消火設備を使用する。
- ・高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- ・消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具（手袋・保護マスク・保護メガネ等）を着用する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の
方法・機材

- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- ・衝撃・加熱を避ける。
- ・河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。
- ・漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
- ・付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
- ・衝撃・静電気火花が発生しない材質の用具を用いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・換気の良い場所で取り扱い容器はその都度密栓する。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・周辺で火気・スパーク・高温体の使用を禁止する。
- ・衝撃・加熱を避ける。
- ・異物との混合・酸・アミン・金属および木・紙等の可燃物との接触を避ける。
- ・密閉場所での作業は十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着用する。
- ・皮膚・粘膜または着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。

保管

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。
- ・火気・熱源から遠ざけて保管する。
- ・冷暗所・乾燥した場所に保管する。
- ・転倒・転落しないように保管する。
- ・他の薬品と同じ場所に保管しない。特に酸類・アルカリ類・アミン類・金属等また木・紙・繊維物等の可燃物を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

No. 物質名

管理濃度 ACGIH(TLV-TWA)

1) 過酸化水素

1P

2) 非結晶性シリカ A

3) プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

略記号： P：ppm M：mg/m³ ACGIH：米国産業衛生専門家会議の定める限度

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内塗装の場合、自動塗装機を使用する等、作業者が直接ばく露されない設備にするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるようにする。 ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合、底部まで十分に換気できる装置を取付ける。
呼吸系の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にする。 ・有機ガス用防毒マスクを着用する。 ・密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ・有機溶剤または化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ・保護メガネを着用する。
皮膚および身体の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を付けること。また化学製品が浸透しない材質であることが望ましい。
その他	

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

状態(20℃)：ペースト状 色：黄系 臭気：わずかに有機溶剤臭

pH：該当せず

融点・凝固点：情報なし 沸点：146℃～280℃ 引火点 64.0℃ (消防法の試験方法による)

爆発限界 情報なし

蒸気圧：466/Pa (20℃)

蒸気密度：情報なし 密度：1.2g/cm³ 溶解度：情報なし

n-オクタノール/水分配係数：情報なし

自然発火温度：115℃ 分解温度：情報なし

臭いの閾値：情報なし 蒸発速度：情報なし 燃焼性(固体・ガス)：情報なし

その他：

10. 安定性及び反応性

安定性

条件(温度・光等)

- ・標準的な条件では反応しない。
- ・標準的な条件では安定である。

避けるべき条件

- ・強酸、強アルカリ、酸化剤との混合を避ける。
- ・混合物は可燃物から離し、残品は大量の水で冷却後廃棄すること。
- ・強い衝撃や摩擦で爆発の危険性がある。

混触危険物質

- ・アミン類との接触で発熱する。
- ・可燃性物質との接触で発熱する。
- ・主剤と硬化剤を混合すると、急激に重合反応が起こり、著しく発熱するので取扱いには注意すること。

危険有害な分解生成物

その他の危険性情報

- ・一酸化炭素・低分子モノマー等の有害性ガスが発生する。
- ・50℃以上で反応する。
- ・大量に燃焼すると爆発の危険性がある。
- ・この製品を含むんだ布・紙・ハケ・ローラー・製品のダストなどが堆積したり丸めたまま放置すると白煙をふいたり、自然発火を起こす危険がある。
- ・この製品を含んだ布・紙・ハケ・ローラー・ダストなどを堆積したり丸めたまま放置しないこと。

11. 有害性情報

	急性毒性				
	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵・ミスト)
過酸化水素	区分4 (311mg/kg)	区分外 (4060mg/kg)	分類できない	区分3 (1438mg/kg)	分類できない
非結晶性シリカA	区分外	区分外	区分外	分類できない	分類できない
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	区分外 (8532mg/kg)	区分外 (5000mg/kg)	分類できない	分類できない	分類できない
シクロヘキサノン	区分4 (1296mg/kg)	区分3 (947mg/kg)	分類できない	区分3 (2450mg/kg)	区分外 (32.1mg/kg)

	皮膚腐食性/刺激性	眼損傷性/眼刺激性	呼吸器感作性	皮膚感作性
過酸化水素	区分1A	区分1	分類できない	分類できない
非結晶性シリカA	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
プロピレングリコールモノ				

ノメチルエーテルアセテート	区分外	区分2 B	分類できない	区分外
シクロヘキサン	区分2	区分2 A	分類できない	区分1

	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	生殖毒性(授乳用)
過酸化水素	区分外	区分外	区分2	分類できない
非結晶性シリカA	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	分類できない	分類できない	区分外	分類できない
シクロヘキサン	区分2	区分外	区分2	分類できない

	特定標的臓器(単回ばく露)	特定標的臓器(反復ばく露)	吸引性呼吸器有害性
過酸化水素	区分1(呼吸器、神経)	区分1(呼吸器) 区分2(血液)	分類できない
非結晶性シリカA	分類できない	分類できない	分類できない
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	区分3(気道刺激性、麻酔作用)	分類できない	分類できない
シクロヘキサン	区分1(呼吸器) 区分2(神経) 区分3(麻酔作用)	区分1(神経、筋骨格)	分類できない

その他の有害性情報 ・皮膚に付着するとかぶれや炎症を起こす恐れがある。

1 2. 環境影響情報

生態毒性
残留性・分解性
生態蓄積性
土壤中の移動性

- ・漏洩、廃棄の際、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
- ・情報を有していない
- ・情報を有していない
- ・情報を有していない
- ・情報を有していない

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

汚染容器および包装

- ・塗料・容器等の廃棄物は、許可を受けた産廃物処理業者と契約して処理する。
- ・容器・機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・排水処理・焼却等により発生した廃棄物についても”廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理するか業者に委託する。
- ・環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意

共通

国内規制

陸上輸送

海上輸送

航空輸送

その他

国際規制

国連番号

国連輸送名

国連分類

容器等級

- ・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、崩れ防止を確実にすること。

- ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合、それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。
- ・荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。
- ・船舶安全法に定めるところに従うこと。
- ・航空法に定めるところに従うこと。

3106
有機過氧化物タイプD(固体)
5.2
該当せず

1 5. 主な適用法令

消防法：危険物第5類第2種自己反応性物質
労働安全衛生法施行令：爆発性の物
労働安全衛生法：第57条(表示すべき有害物)

16. その他の情報

主な引用文献 ・日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 (社) 日本塗料工業会
・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック (混合物用 (塗料用)]
日本塗料工業会
・ザックス 有害物質データブック 丸善

注 意

- ・このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
当該製品の危険・有害性に関する情報および評価は原材料の情報から推定した
ものであり、必ずしも十分なものではありません。
ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。
- ・このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。
- ・記載内容の中で含有量・物理的・化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係
ありません。
- ・この安全情報は国の規制を含む、(社) 日本塗料工業会の基準に基づくもので
ありますが、地方自治体の規制情報は含まれていません。
安全作業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に
従い対処してください。